TOPへ 学校行事へ

今日は、文部科学省・公益財団法人日本体育協会「子どもの体力向上啓発事業」によるソフトボール教室がありました。

この教室で、みんなに教えて下さったのは、松本直美さんです。

松本さんは、中学校からソフトボールと出会い、社会人チームでは日本一に輝かれたそうです。

そして、日本代表選手に選ばれ、アテネオリンピックで4位、シドニーオリンピックでは銀メダルを獲得されました。

まずは、松本さんの紹介と児童代表のあいさつです。



そのあと、お話をいただきました。

テーマは、「夢に向かって」でした。

ご自身の経験とともに、夢をもつこと、夢を語ることの大切さを教えていただきました。

また、夢を持ち続けて一生懸命になることの価値など語ってくださいました。



次は、ストレッチをして、グランドを2周走りました。





次は、スポーツの基本である走ることを楽しく教えてくださいました。

いろいろなパターンで走りました。

「できなくてもやってみる。」「考えて体を動かす。」など、随所に熱いメッセージを語ってくださいました。。





続いて、ボールの握り方と投げ方の指導です。

ただ「投げる」という動作にも、様々な体の動きが連動していることを教えてくださいました。





そしていよいよキャッチボールです。

ペアを組んでボールを投げ合うところを見てもらいました。

ていねいに、体の動きを指導してくださいました。

体が覚えるまで何度も、手を添えて教えていただいていたのが印象的です。



残念ながら時間がきてしまい、これで教室は終わりましたが、子どもたちの心に何か火が付いたかもしれません。

スポーツ選手、消防士、歌手、大工・・・たくさんの夢がみんなにはあるようです。

自分の夢に向かって、一生懸命に生きていきましょう!

まだ、自分の夢をもっていない、はっきりしていないとう人もいるようです。

夢というと大きすぎて、引っ込んでしまうかもしれません。

でも、将来に何の仕事につくかということだけが夢ではありません。

小さなことでも、明日のことでも、「これ!」という目標をもつことが大事なのではないでしょうか。

自分の「これ!」ということをしっかりともって努力する経験を積んでおけば、やがては大きな夢を抱くことができるかもしれません。

まずは、考えて動くこと!

スポーツだけでなく、他のいろんなことに燃えてほしいと思います。

夢に向かってがんばっている、つまり夢中になっている時を、人生のうちに何度か味わってほしいと 思います。

子どもたちに熱心に指導して下さって、松本直美さん、ありがとうございました。



TOPへ 昨年の大滝小祭りへ

今日は、大滝小学校の伝統行事の大滝小祭りです。

子どもたちはこの日が近づくと、休み時間も忘れてお店づくりをがんばります。

今年は、どんなお祭りになったのでしょうか。

まずはじめは、体育館に集まって開会式が行われました。

大滝小祭りでは、幼稚園や保育園の子ども、祖父母や保護者の方々を招待します。



司会、挨拶などの担当は、児童会です。

たくさんの経験を積んできて、話すことが上手になってきました。

もう、児童会のみんなには、こういった役割を安心して任せられます。



続いて、5年生のステージ発表がありました。

毎年恒例で5年生は、総合学習で行っている「田んぼのこ」の報告をします。

今年は、劇を交えながらの報告だったので、田植えや稲刈りの様子がよく伝わりました。



印象に残ったのは、3粒のお米が4000粒にもなると発表してくれたことです。

また、育ててくださった方や、田んぼについて教えて下さった方への感謝の気持ちを伝えられたのもよかったですね。

とてもわかりやすく、楽しい発表でした。

最後に、おまけの手品ショーもありました♪



続きは、大滝小祭り②でお知らせします。

TOPへ 学校行事へ 大滝小祭り①へ

5年生の発表が終わると、各学年のお店紹介があります。

1年生は、全員がステージに上がって、「きょうりゅう1年生」の展示の紹介をしました。



2年生から5年生は、代表者が前に出てお店の紹介をしました。

2年生は、「キラキラかがやく2年生ランド」です。

3年生は、「大滝アドベンチャー」です。

4年生は、劇団四年「多賀のええトコ探検隊」です。

5年生は、「お米パラダイス」です。



そして、6年生は、「恐怖のサダコハウス」です。

全員が前に出て紹介しました。

3匹のお化けも登場して、会場をわかせました。



それでは、大滝小祭りのはじまりです!





どの学年も、お客さんのことを考えて活動ができました。

子どもたちの楽しい思い出が1ページ増えたとともに、いろんな力のレベルアップがあったと思います。

ご参観いただいたみなさま、どうもありがとうございました。